

審査項目表

令和3年第1回定例会（2月議会） 農林水産委員会（分科会）

◎補正予算関係

《農林水産部関係》

〔議案審査関係〕

| | | |
|---|---------------------------------------|----|
| 1 | 2月補正予算全般について | |
| | （1）51億円の減額補正となった理由について | 4 |
| | （2）新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の措置状況について | 4 |
| | （3）農業夢プラン応援事業の執行状況について | 5 |
| 2 | 県産農畜水産物学校給食等活用緊急対策事業について | |
| | （1）秋田牛等の提供数量が計画を下回った理由について | 5 |
| | （2）生産農家への影響や反響について | 6 |
| | （3）食材の在庫解消について | 6 |
| | （4）学校からの継続要望について | 6 |
| 3 | 雪害対策緊急支援事業について① | |
| | （1）追加提案を予定する事業の予算規模について | 7 |
| | （2）農家の営農継続への支援について | 7 |
| | （3）葉たばこ生産者への対応について | 7 |
| | （4）平成23年豪雪の被害額について | 7 |
| 4 | 農地中間管理総合対策事業について | |
| | （1）農地の賃貸借面積の推移について | 8 |
| | （2）目標値の達成に向けた施策について | 8 |
| 5 | 造林補助事業について | |
| | （1）国の予算内示による減額について | 8 |
| | （2）国への予算要望について | 8 |
| 6 | 雪害対策緊急支援事業について② | |
| | （1）果樹の苗木の補助について | 10 |
| | （2）園芸施設共済におけるパイプの改良復旧の取扱いについて | 11 |
| | （3）収入保険の加入率について | 11 |
| | （4）収入保険の加入促進について | 12 |
| | （5）「過去の豪雪を乗り越えたパイプハウス」という表現について | 12 |
| | （6）より強度のある資材の開発・普及について | 12 |
| | （7）ハウスの解体・再建におけるマンパワー不足を克服する体制づくりについて | 12 |
| | （8）漁業者が使用する浜小屋等の被害状況について | 13 |
| | （9）事業対象者について | 13 |
| | （10）予算の積算根拠について | 13 |
| | （11）市町村による被害の認定について | 13 |
| | （12）除雪作業における人手や労賃の手配について | 14 |
| | （13）除雪作業の進捗状況について | 14 |
| | （14）補助金を交付する時期について | 14 |
| | （15）農薬の補助について | 14 |
| | （16）事業の遡及適用について | 14 |

| | |
|------------------------------------|----|
| (17) 現場を支援する県職員の業務量について | 14 |
| (18) 2月の暴風雪による被害状況について | 15 |
| (19) 共済に加入していない個人農家への支援について | 15 |
| (20) 強風被害に対する対応について | 16 |
| (21) 融雪剤について | 16 |
| (22) ドローンや無人ヘリを活用した融雪について | 17 |
| 7 森林学習施設管理運営費について | |
| (1) 農林水産部で所管する指定管理施設について | 17 |
| (2) 利用料金収入制の施設について | 17 |
| 8 雪害対策緊急支援事業について③ | |
| (1) 農家の種別にかかわらず支援することを国に要望したことについて | 17 |
| (2) 意欲のある農家への支援という表現について | 18 |

◎補正予算関係（2月15日提案分）

《農林水産部関係》

〔議案審査関係〕

| | |
|---|----|
| 1 雪害対策緊急支援事業について④ | |
| (1) 国の支援策の要件について | 21 |
| (2) 事業による補助と農業共済の兼ね合いについて① | 21 |
| (3) 国費負担分の考え方について | 21 |
| (4) 農家の自己負担について | 22 |
| (5) 改良復旧した場合の補助金の計算について | 22 |
| (6) ハウスの強度を損なわない建て方の指導について | 23 |
| (7) 事前着工について | 23 |
| (8) 国事業併用タイプと県単独タイプの違いについて | 23 |
| (9) ハウスの撤去費用等について | 23 |
| (10) 離農対策について | 23 |
| (11) 補助金支給の流れについて | 24 |
| (12) J A非加入の農家への対応について | 24 |
| (13) 市町村やJ Aを通じた農家への情報提供について | 24 |
| (14) メガ団地や夢プラン事業を活用した農家の共済加入状況について | 24 |
| (15) 事業による補助と農業共済の兼ね合いについて② | 25 |
| (16) 農業共済に加入することのメリットについて | 25 |
| (17) 災害に強い改良復旧の促進について | 25 |
| (18) 果樹棚の県単独の補助率を国事業併用タイプと同じに設定したことについて | 26 |
| (19) 収穫量の減少に対する支援について | 26 |
| 2 畜産クラスター関連事業について | |
| (1) 当初計画との比較について | 27 |
| (2) 肉用牛団地の整備に至る経緯について | 27 |
| (3) 新設豚舎と既存豚舎の距離について | 27 |
| (4) 県産材の活用について | 28 |
| 3 メガ団地等大規模園芸拠点育成事業について① | |
| (1) 団地内の動線の舗装について | 28 |
| 4 森林病虫害等防除対策事業について | |
| (1) 県内の松くい虫被害の状況について | 29 |

| | |
|--------------------------------|----|
| (2) 抵抗性マツの研究について | 29 |
| 5 産地生産基盤パワーアップ関連事業について | |
| (1) 地域農業再生協議会の機能や効果について | 29 |
| (2) 地域農業再生協議会が米の数量調整に果たす役割について | 29 |
| (3) 物流施設の整備状況について | 30 |
| (4) 今後の施設整備について | 30 |
| (5) 設備投資によるコストと効率化の兼ね合いについて | 30 |

◎当初予算関係

《農林水産部関係》

〔議案審査関係〕

| | |
|--|----|
| 1 令和3年度農林水産部重点推進事項について① | |
| (1) 農業の大型化と農家の減少について | 32 |
| (2) 農地の維持管理について | 33 |
| (3) 国産品の価値を消費者にPRすることについて | 35 |
| (4) 魅力ある農業について | 35 |
| 2 スマート農業推進関連事業について① | |
| (1) 先端技術研修会等の参加方法について | 36 |
| (2) 大小様々な規模の農家にスマート農業をPRすることについて | 36 |
| (3) 部局間連携して多面的にスマート農業に関する情報を発信することについて | 36 |
| (4) 農業夢プラン応援事業枠での要望事項について | 37 |
| 3 農地中間管理総合対策事業について | |
| (1) 農地集積の実績と今後の見通しについて | 37 |
| (2) 集約した農地の有効利用に向けた対策について | 37 |
| 4 農産物グローバルマーケティング推進事業について | |
| (1) 組織改正を含めた農産物輸出の強化について | 38 |
| (2) 前年度予算から減額になっていることについて | 39 |
| (3) 販売戦略室の設置からこれまでの成果について | 40 |
| (4) 販売戦略室の取組への期待について | 41 |
| (5) 委託企業について | 41 |
| (6) 輸出拡大に向けた県内企業の育成について | 41 |
| (7) 輸出製品の生産段階における取組について | 42 |
| (8) 生産者の人手不足について | 43 |
| 5 スマート農業推進関連事業について② | |
| (1) 生産性やコストパフォーマンスに関する指針について | 44 |
| (2) 県のスマート農業の推進方針について | 44 |
| 6 メガ団地等大規模園芸拠点育成事業について② | |
| (1) 整備事業を実施した面積について | 44 |
| (2) 事業年度終了後の方向性について | 44 |
| 7 秋田米をリードする新品種デビュー対策事業について① | |
| (1) 価格設定の考え方について① | 45 |
| 8 メガ団地等大規模園芸拠点育成事業について③ | |
| (1) 中山間地のほ場整備について | 45 |
| (2) 農地集約と農地集積の状況について | 46 |
| (3) 若者の就農への効果について | 46 |

| | | |
|----|--------------------------------|----|
| 9 | 令和3年度農林水産部重点推進事項について② | |
| | （1）農林水産部当初予算の措置状況に対する所感について | 47 |
| | （2）第3期ふるさと秋田元気創造プランの進捗状況について | 47 |
| 10 | 秋田米をリードする新品種デビュー対策事業について② | |
| | （1）サキホコレのデビューを加味した米政策について | 47 |
| | （2）価格設定の考え方について② | 48 |
| 11 | 水田作付転換緊急推進事業について① | |
| | （1）飼料用米に転換する面積について | 48 |
| | （2）転換を進める地域について | 48 |
| 12 | 秋田牛生産総合対策事業について | |
| | （1）鹿児島全共に向けた取組について① | 48 |
| | （2）畜産まつりの開催について | 49 |
| | （3）鹿児島全共に向けた取組について② | 49 |
| | （4）繁殖雌牛資質向上事業の委託料について | 50 |
| 13 | 研究活動費について | |
| | （1）新規課題について | 50 |
| | （2）継続課題について | 50 |
| | （3）研究成果の活用事例について | 50 |
| | （4）予算減額の影響について | 50 |
| | （5）研究費の調達について | 51 |
| 14 | 水田作付転換緊急推進事業について② | |
| | （1）米の余剰在庫解消に向けた国の事業について | 51 |
| | （2）農家への情報提供について | 51 |
| | （3）国の水田リノベーション事業の補助金申請について | 51 |
| | （4）国事業の内示と今後の見通しについて | 51 |
| 15 | 農林漁業振興臨時対策基金について | |
| | （1）令和2年度末時点の残高について | 52 |
| | （2）基金捻出と農業振興の考え方について | 52 |
| 16 | 次代につなぐ再造林促進対策事業について | |
| | （1）先進的造林技術について | 55 |
| | （2）過去の類似事業について | 55 |
| | （3）現場の視察について | 55 |
| | （4）肥料の使用状況について | 55 |
| | （5）農業由来の肥料を林業で使用するについて | 55 |
| | （6）シイタケ栽培で発生するほだ木の肥料化について | 56 |
| | （7）苗木の成長の早さについて | 56 |
| | （8）人為的に成長を早めるための研究について | 57 |
| | （9）低コストな造林技術の開発について | 57 |
| 17 | 日本型直接支払交付金事業について① | |
| | （1）事業継続期間の長さについて | 58 |
| | （2）事業を活用していない農地の割合と維持管理の状況について | 58 |
| | （3）事業を活用して地域住民一体で農地を守るについて | 58 |
| | （4）優良事例の紹介について | 59 |
| | （5）地域の活性化につなげるについて | 59 |
| 18 | 元気な中山間農業応援事業について① | |

| | | |
|----|-------------------------------------|----|
| | (1) 中山間水田畑地化整備事業への市町村からの要望について | 59 |
| 19 | 秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業について① | |
| | (1) 「守りたい秋田の里地里山50」への認定を希望する地域について | 60 |
| 20 | 日本型直接支払交付金事業について② | |
| | (1) 県内市町村における事業の活用状況について | 60 |
| 21 | 秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業について② | |
| | (1) 生活環境部自然保護課と連携した取組について | 60 |
| 22 | 元気な中山間農業応援事業について② | |
| | (1) 中山間地域資源活用プランの策定について | 61 |
| | (2) プラン策定への県の関与について | 61 |
| | (3) プラン策定の進捗と成果について | 61 |
| | (4) 令和3年度に策定するプランについて | 61 |
| 23 | 日本型直接支払交付金事業について③ | |
| | (1) 取組面積の増加に対して予算が減額になっていることについて | 61 |
| | (2) 実績見込みについて | 62 |
| | (3) 協定期間の途中での予算減額について | 62 |
| 24 | 秋田の漁業人材育成総合対策事業について | |
| | (1) 過去の研修の参加者数について | 63 |
| | (2) 漁業トライアル基本研修の内容について | 63 |
| | (3) 外国人の漁業への就業について | 63 |
| 25 | 未来につなぐ豊かな海づくり推進事業について | |
| | (1) 秋田の地魚消費拡大事業の予算減額について | 63 |
| | (2) 水産物オンライン販売支援事業の内容について | 63 |
| | (3) 県が窓口となって取組を世界に向けて発信することについて | 64 |
| | (4) 水産物オンライン販売支援事業の対象者について① | 64 |
| | (5) ブランド水産物支援事業で想定している高付加価値化の内容について | 64 |
| | (6) 水産加工の振興について | 64 |
| | (7) 水産物オンライン販売支援事業の対象者について② | 64 |
| | (8) 助成対象設備について | 64 |
| | (9) 講演会の内容等について | 65 |
| 26 | 森林病虫害等防除対策事業について | |
| | (1) 被害量の推移について | 65 |
| | (2) 予算や事業区域の推移について | 65 |
| | (3) 国庫補助事業の予算減額について | 65 |
| | (4) 事業の成果と今後について | 66 |
| 27 | 森林情報利活用ステップアップ事業について | |
| | (1) 森林GISがカバーする範囲について | 66 |
| | (2) 森林GIS高度化事業と森林情報デジタル化推進事業の違いについて | 66 |
| | (3) 森林GIS等を活用した秋田県の林業振興について | 66 |
| 28 | 農業農村整備事業について① | |
| | (1) 予算の措置状況について | 66 |
| | (2) 経営体育成基盤整備事業の内容について | 67 |
| | (3) 基幹水利施設ストックマネジメント事業等の内容について | 67 |
| | (4) 老朽化した農業水利施設等の数について | 67 |
| | (5) 基幹水利施設ストックマネジメント事業の受益者負担について | 67 |

| | |
|-------------------------------------|----|
| (6) 国土強靱化に向けた取組について | 68 |
| 29 ウッドファーストあきた推進事業について | |
| (1) ウッドファーストなあきたの住まいづくり推進事業の執行率について | 68 |
| (2) 業界団体からの要望について | 68 |
| 30 あきた材販路拡大事業について | |
| (1) ウッドファーストあきた推進事業から独立した理由について | 68 |
| 31 水利施設整備事業について | |
| (1) 小水力発電施設整備事業の予算減額について | 69 |
| (2) 小水力発電施設の設置予定について | 69 |
| 32 農業農村整備事業について② | |
| (1) 農村地域防災減災事業の補正予算の見込みについて | 69 |
| 33 公害防除特別土地改良事業について | |
| (1) 事業の終了について | 69 |
| (2) 継続的な農地の維持に向けた農家へのフォローについて | 69 |
| 34 農業農村整備事業について③ | |
| (1) 経営体育成基盤整備事業の進捗について | 70 |
| (2) 整備目標面積について | 70 |
| (3) 国への予算要求について | 70 |
| (4) 国営事業とのバランスについて | 71 |

〔請願審査関係〕

なし

〔陳情等審査関係〕

なし

〔所管事項審査関係〕

| | |
|-------------------------------------|----|
| 1 カドミウム低吸収品種「あきたこまちR」について | |
| (1) 研究開発の期間について | 71 |
| (2) 自家採種の禁止の徹底について | 72 |
| (3) 一般作付で想定する面積について | 72 |
| (4) 流通時の扱いについて | 72 |
| (5) カドミウム地帯ではあきたこまちRの作付を強く求めることについて | 72 |
| 2 「おがる八峰しいたけプロジェクト」事後評価について | |
| (1) 菌床シイタケ関連の加工食品等の開発の内容について | 73 |
| (2) 販売実績について | 73 |
| (3) 八峰町と県の支援について | 73 |
| 3 国営かんがい排水事業「八郎潟」地区の概要について | |
| (1) 水質保全機能の増進への寄与について | 73 |
| (2) 工事設備等の発注や契約について | 74 |
| 4 秋田林業大学校における林業トップランナー養成研修の取組状況について | |
| (1) 今までの取組の成果について | 74 |
| (2) 開校の時期について | 75 |
| (3) 他県からの注目について | 75 |
| (4) 今後の取組の意気込みについて | 75 |

| | |
|----------------------|----|
| (5) 修了者の就職後の追跡調査について | 75 |
| (6) 定員枠の拡大について | 75 |
| (7) 若者の林業への就業について | 76 |

◎補正予算関係（2月22日提案分）

《農林水産部関係》

〔議案審査関係〕

| | |
|----------------------|----|
| 1 比内地鶏需要回復緊急対策事業について | |
| (1) 事業の効果の検証について | 78 |
| (2) 比内地鶏の固い肉質について | 78 |
| (3) 産地市町村の取組について | 79 |
| (4) 新販路や商品開発の動きについて | 79 |
| (5) 肥育業者の経営状況について | 79 |